

行政視察報告書

令和 6 年 1 月 12 日

長浜市議会議長 中川 勇 様

長浜市議会議員 押谷 正春



私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 令和5年度会派（新しい風）による行政視察研修
2. 視察期間 令和5年11月22日（水）～11月24日（金）
3. 視察場所及び目的
 - ①福島県会津若松市「ARを活用した観光行政」について
 - ②宮城県仙台市「防災意識の醸成と対策」について
 - ③福島県福島市「福島イノベーションコースト構想」について
4. 調査内容感想等

・視察の内容

「ARを活用した観光行政」について

若松城の歴史文化と観光周遊を結びつける

○歴史を物語る貴重な文化財を適切に保存し、未来へ継承すること

○若松城・会津若松市の歴史文化の価値や魅力をわかりやすく紐解き、発信すること

○来館者を市内まちなかへと誘導し、さらなる文化観光へとつなげること。

○20～40代の若年層を中心としたファンを増やしていくこと

◎若松城特有の階段・回廊の形状を意識した展示構成・配置デザインを行うことで歴史情報から観光情報へつなげていきます。

◎歴史に秘められた物語を実感することで現代の町めぐりがワクワクする体験ストーリーを実現します。

○スマートフォンVRコンテンツ

各自のスマートフォンアプリを使用して、天守閣から風景と併せて代表的なスポットを紹介

○壁面グラフィック+WBARソフト

各自のスマートフォンを使用し、赤べこ等のキャラクターと記念撮影ができるフォトスポット

○観光情報検索コンテンツ

カテゴライズされたサムネイル写真を選択し、観光情報を閲覧・取得できる情報コンテンツ

○まちなか周遊事業

サービス利用者が会津若松市をスマートフォンから自動的に流れる音声聞きながら新選組とともにまちあるきをするというもので、最新デジタル技術「音声AR」を活用している

「防災意識の醸成と対策」について

仙台市荒浜小学校は東日本大震災で被災し損傷。2017年5月より震災遺構として公開されている。地震発生から避難、津波の襲来、救助されるまでの過程を写真や映像で振り返るとともに、災害への備えについて学ぶことができます。荒浜地区の歴史や文化、荒浜小学校の思い出なども紹介されている。

名取市閑上地区の教訓

○先人の教訓が伝わらなかった

○津波は閑上に来ない!!!・・・神話を作ってしまった

○避難所に行ったら、安全宣言がでるまでは勝手に移動しない

○防災無線が機械の不具合で放送されなかった

「福島イノベーションコースト構造」について

自立的・持続的な産業発展の実現とその効果の県全体への波及

○あらゆるチャレンジが可能な地域

○地域の企業・研究機関・住民が主役

○構想を考える人材育成

會澤コンクリート株式会社

脱酸素に繋がるコンクリート技術の導入

自己治癒コンクリートや液化 CO2 を注入した低炭素コンクリートなどの革新技術を用いて、2035 年までにサプライチェーンの温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする。「NET ZERO 2035」をコミットメントしました。

また、保有する技術を同業多社に包括移転するプログラム「aNET ZERO イニシアティブ」を開発し、“期限付きネットゼロ”の環を全国に広めています。

福島イノベーション・コースト構想推進機構(主要プロジェクト)

・プロジェクト 1

国内外の英知を結集した技術開発(廃炉)

・プロジェクト 2

福島ロボットテストフィールドを中核にロボット産業を集積(ロボット・ドローン)

・プロジェクト 3

先端的な再生可能エネルギー・リサイクル技術の確立へ(エネルギー・環境・リサイクル)

・プロジェクト 4

ICT やロボット技術等を活用した農林水産業の再生(農林水産業)

・プロジェクト 5

技術開発支援を通じ企業の販路を開拓(医療関連)

・プロジェクト 6

次世代航空モビリティの開発や関連企業の競争力強化(航空宇宙)

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

「AR を活用した観光行政」について

当市においても、小谷城歴史博物館の再整備にむけてARの活用をしていく。市内まちあるきをする際においても、「音声AR」を活用してユネスコ世界遺産登録された長浜曳山祭りでの各山組の蔵や各観光施設を散策する際、音声解説

や観光ガイドを行うアプリの作成に取り組んではどうか。

「防災意識の醸成と対策」について

当市においては、現在屋外において防災放送を実施していますが、屋内では聞き取れないなどの苦情があり。出来れば防災無線の整備が必用ではないか。

この地域には大地震は来ないという固定観念での防災訓練ではなく、大地震は来るという中での防災訓練の実施を行う必要がある。

「福島イノベーションコースト構造」について

当市においても新しい産業の構築と誘致に取り組む必要があるのではないか

当市には長浜バイオ大学があり、バイオ関連の企業の誘致を積極的に取り組む必要があるのではないか
